

久米島町下地原洞穴遺跡に



リュウキュウジカ（オス）の頭蓋骨



下地原洞人（乳児の骨格） 写真提供：馬場悠男氏

旧石器時代の 人類活動痕跡を探る

2024.

12.7 土

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

久米島町下地原（しもじばる）洞穴遺跡は、1980年代前半の発掘調査によって約18,000年前（更新世末期）の生後10か月程度の乳児の骨格が見つかったこと、そして多量の絶滅シカ化石が見つかったことで有名です。

本講座では、当時発掘された化石の再検討と、2020年の現地踏査がきっかけとなって始まった再発掘の詳細や現時点での成果について、近年の沖縄周辺の更新世人類の調査研究を振り返りながらお話しします。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。

講師 澤浦 亮平（人類担当学芸員）

会場 沖縄県立博物館・美術館
博物館講座室

受付 当日先着（定員80名）

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

次回予告

2025. 2.8 土 14:00~16:00 (13:30開場)

博物館学芸員講座「沖縄の近現代」

講師 大城 直也（歴史担当）

